

提案事業調書

-

1 団体について

団体名 ちびっこ法人まかせと KIDS

団体の活動目的	ちびっこ法人まかせと KIDS は、子どもたちの創作やごっこ遊びと仕事体験を掛け合わせた活動をサポートする団体。 ボードゲームやクリエイティブ活動や商売に興味がある子どもたちに、活動出来る場を提供する。さらに、地域の有識者やサポーターを巻き込んだ活動にすることで、津市の子どもたちの可能性を広げることを目的とする。 具体的には、小学生や親子を対象とした創作イベント、ボードゲームを活用した教育イベントを企画。将来的には企業等とコラボレーションした商品開発や広報活動を行う。
これまでの活動実績	団体としては無し。個人としての活動は下記の通り。 ◆主要メンバー①: 小学4年生 新型コロナウイルスの影響により小学校入学後すぐ休学となる。放課後に同級生や近所の子どもたちと遊ぶことが出来なかったため、自宅でボードゲームクリエイターとしてゲームの創作を行っていた。完成したゲームをクラスメイトで遊び、さらにゲーム開発をクラスメイトと行うなど、周囲を巻き込んだ活動に波及した。また、自由研究でボードゲームの意義について研究。入選とはならなかったものの、学校内で高い評価を得る。 2023 年 11 月には、三重大学教員らが運営する NPO 法人アートタウンプロジェクトとコラボレーションし、「ハンバーガーパニック」というゲームをもとにした創作イベントを実施。定員 10 名を超える応募があり、盛況に終える。周囲から、同様のイベントがあれば次回も参加したいという声が多くあった。2024 年 1 月に団体を設立。 ◆主要メンバー②: 中村千文 ①の母。これまでの活動をサポート。現在、キャリア教育や地域づくり、企業研修を行う一般社団法人わくわくスイッチに勤務。研修の企画や集客、関係者を巻き込んだコーディネーションの実績を有す。
交付金を受けた過去の実績	■初めて ☐ 津市市民活動団体設立等支援交付金 (年度) ☐ 津市市民活動推進交付金 (回)

2 提案事業について

事業名	子どものわくわくを形にする！ちびっこ法人プロジェクト
公益活動の 分野	☐ ① 保健、医療又は福祉の増進を図る活動 ☒ ② 社会教育の推進を図る活動 ☐ ③ まちづくりの推進を図る活動 ☐ ④ 観光の振興を図る活動 ☐ ⑤ 農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動 ☐ ⑥ 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動 ☐ ⑦ 環境の保全を図る活動 ☐ ⑧ 災害救援活動 ☐ ⑨ 地域安全活動 ☐ ⑩ 人権の擁護又は平和の推進を図る活動 ☐ ⑪ 国際協力の活動 ☐ ⑫ 男女共同参画社会の形成の促進を図る活動 ☒ ⑬ 子どもの健全育成を図る活動 ☐ ⑭ 情報化社会の発展を図る活動 ☐ ⑮ 科学技術の振興を図る活動 ☐ ⑯ 経済活動の活性化を図る活動 ☐ ⑰ 職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動 ☐ ⑱ 消費者の保護を図る活動

団体が解決を目指す津市の地域課題 【津市の現状と課題を具体的に記載してください】	この団体は、創作や仕事に興味がある小学生の夢をかなえる為のサポートを行う為に設立した。 もともと、メンバーの1名の小学生が、 ・自分で作ったボードゲームを多くの人に見てもらいたい ・お楽しみ会を子どもたちで企画して実行してみたい ・人に喜んでもらう仕事体験をしてみたい といった意欲があったものの、津市内にそうした体験ができる団体・サービスがなかったため、自分たちで団体を立ち上げ、共通の思いを持っている子どもたちに向けて活動を行うこととした。
事業の内容 【場所(どこで) 対象(誰に・何人に) 内容(どうする)を記載してください。】	■実施場所 津センターパレス会議室／学童保育所／子どもの居場所等 ■対象者 小学生および保護者 ■内容 下記のイベントを各1回ずつ開催。定員各15名。 ①わくわく！遊んで学ぶボードゲーム教室(約3時間) ボードゲームを使ってコミュニケーションスキルやファシリテーションスキルの育成を行う。 ・自己紹介 ・ボードゲームで遊んで学ぼう！ ・振り返り ②ボードゲーム開発ワークショップ(約3時間) 現在試作中の「ハンバーガーパニック」や「いいわけしていいわけ？」をもとに、子どもたちでオリジナルイラストをデザイン。世界に一つだけのオリジナルゲームを創作し、ものづくりの面白さを体験する。 内容： ・自己紹介 ・企画会議を体験しよう ・創作してみよう ・パッケージをデザインしてみよう ・振り返り ③こどもPOP教室(約3時間) 民間団体・企業と連携し、連携先の商品・サービスを紹介するポップを制作する講座を行う。

第2号様式

	内容：（洋菓子屋とコラボしたの例） ・自己紹介 ・洋菓子屋の商品の試食 ・開発ヒストリーをインタビュー ・デザインのイロハを解説 ・POP をデザインしてみよう ・発表 ・振り返り			
本年度新たに取り組む内容又は 前年度から発展させた内容	上記事業すべてが新たに取り組む事業である			
事業を行うことで期待される成果とその目標 【目標を数値で示してください】	・子どもがサービスを提供される・支援される側ではなく担い手になる場をつくる ・子どもの主体性を尊重し、自分で考えて行動する子どもたちを増やす ・参加人数：のべ 45 名 ・満足度 80%			
来年度以降の事業予定について	■事業内容 プログラム内容の拡充 ・めざせ質問マスター！インタビュー実践講座 ■自主財源確保の方向性 ・参加者を増やす ・パートナーシップ企業の獲得 ・イベント出展等			
事業のスケジュール	4月		10月	企画・準備
	5月		11月	広報開始

この調書は、公開資料となります。

第2号様式

	6月	企画・準備	12月	イベント③
	7月	広報開始	1月	
	8月	イベント①②	2月	報告書作成
	9月		3月	
実績報告書提出予定日		2025年 2月 28日頃		

第3号様式

提案事業収支予算書

(収入の部)

項目	内訳・計算根拠	予算額
津市からの委託料、補助金 または交付金		100,000
自己資金		5,000
他の補助金等収入		
事業収入	参加費 1000円×45名	45,000
その他収入		
収入合計…①		150,000

(支出の部)

項目	内訳・計算根拠	予算額	市費充当予定額
交付対象経費	報償費	講師謝金 1名分	30,000 30,000
	交通費		
	消耗品費	工作に使用する文具等（別紙）	30,000 30,000
	印刷製本費	チラシ印刷代 20000円×2回	40,000 40,000
	燃料費		
	光熱水費		
	通信運搬費		
	保険料		
	委託料		
	使用料及び賃借料		
	手数料		
	備品購入費（5万円以内）		
	その他経費	教材費（ボードゲーム用厚紙・白箱・テキスト）	50,000
	交付対象経費合計…A		150,000
交付金額（A×補助率） 上限20万円 ※補助率：初年度 3分の2、2年度目2分の1、3年度目 3分の1			100,000
交付対象外経費	人件費		
	食糧費		
	備品購入費（5万円を超える部分）		
	その他経費		
交付対象外経費合計…B			

※収入合計予算額と支出合計予算額は合致（①＝A＋B）

この資料は、公開資料となります。

添付書類 計算根拠のわかる見積書又はカタログのコピー

消耗品費 内訳

項目	単価	数量	料金
マスキングテープ	100	20	2,000
色鉛筆	2000	3	6,000
マーカー	150	60	9,000
はさみ	500	4	2,000
のり	200	5	1,000
色紙	1000	1	1,000
画用紙(はがきサイズ)	1	500	500
模造紙(20 枚入り)	1	1000	1,000
付箋(5 色入り)	1,500	1	1,500
ステンシルシート	1,000	3	3,000
デコレーション素材(シール・リボン・モール等) ※100 円ショップで購入予定	-	-	3,000
合計			30,000